

令和8年度 温海地域主要事業の概要

意見交換資料 1

進捗状況…○概ね順調に進んでいる、△遅れている、×未実施

NO	総合計画または地域振興計画上の位置づけ 事業名	事業主体	事業内容	R8事業費 (千円)	令和8年度取組予定	令和8年度進捗状況 (8月31日現在)	進捗状況	令和8年度今後の予定	次年度以降の方向性
【地域づくり推進課】									
1	自然・歴史・文化を生かした交流人口、関係人口の拡大 【地域振興事業】 温海地域支援ネットワーク推進事業 (継続)	市 事業実施 団体	人口減少が背景となつて発生する諸課題の解決、地域の活性化を図るため、地域を離れた人材や地域と多様な関わりや想いを持つ人材（関係人口）を、新たな「地域の担い手」として受け入れるための仕組みづくりを進める。	520	【温海地域若者ネットワーク創出】 ・実際にまちづくりに取り組む若者（県外1名、県内1名）を講師に招き研修会を開催。実践している取組やまちづくりに対する考え等を学び、温海地域における若者のネットワーク形成の契機とする。 【温海地域関係人口拡大推進】 ・温海の関係人口を増やす会（略称「あつかん」）の活動を支援 <活動内容> ・地域行事等へ地域内外から参加者を呼び込む。 ・自主企画のイベントを実施 ・「リゾートバイト」受入調整	【温海地域関係人口拡大推進】 ・「あつかん」に対する補助金交付決定済 <活動内容> ・広報活動及びリゾートバイトの調整 学生4名が参加 ※現在の「あつかん」は6名（温海在住3名、首都圏在住3名）で構成	○	【温海地域若者ネットワーク創出】 ・東京大学フィールドスタディ型政策協働プログラム参加メンバーが来訪中に、「あつかん」メンバーを講師とする研修会を開催（9月22日） ・県内在住者を講師に招致する研修会は年明けに開催予定 【温海地域関係人口拡大推進】 ・「あつかん」の広報活動や自主企画イベントの開催を支援 <活動内容> ・広報活動により、地域行事等へ首都圏の若者を呼び込む。	【温海地域若者ネットワーク創出】 ・ライフスタイルの多様化により、若者同士のネットワークづくりが難しくなっている状況を踏まえ、引き続き、市が関与しながら、人材育成や地域づくりを意識した取組を継続していく。 【温海地域関係人口拡大推進】 ・「あつかん」の取組への支援を継続し、地域に関わる若者を増やすことで、地域の担い手不足の解消と地域の活性化を図る。
2	自然・歴史・文化を生かした交流人口、関係人口の拡大 【地域振興事業】 温海地域家族まるごと移住体験事業 (継続)	市 あつみ福祉会 事業実施 団体	都市圏在住で、子どもの教育に熱心な親世代に、自然豊かな地での保育、体験の場を提供し、親子と温海地域との関わりしるを作り、移住・二地域居住を目指す。	4,987	・目標を15家族、270人泊に設定し、5月から受入開始 ・新規宿泊先（たちばなや）での受入により受入家族の拡大を目指す。 ・事業報告会（地域住民向け）の実施を検討し、地域住民へ取組の周知を図る。	・5月に1家族、7月に2家族、8月に2家族、計5家族（延べ90人泊）を受入 ・桶山荘において、受入家族と地域住民との交流会を実施 ・毎月、事業関係者（保育園、あつみ福祉会、㈱キッチンハイク）でミーティングを行い、取組状況や課題を確認するとともに、今後の対応について意見交換を行っている。	△	・9～12月に2家族の受入れが確定しており、引き続き2月末まで受入継続（受入目標：15家族） ・保育園、福祉会、㈱キッチンハイクと連携し、地域住民向けに取組の周知を図り、事業への理解促進を図る。	・他自治体との広域連携化を視野に入れ、新たに国の交付金を活用しながら事業継続予定である。
3	次代を担う人づくりの推進（適正な教育環境の整備） 高校生等遠距離通学費支援事業 (継続)	高校生等 保護者等	温海地域から中学・高等学校等に通学する生徒を持つ世帯に対し、通学費の一部を支援することで、家庭の負担を軽減し、地域への定住化を図る。 ※申請交付手続きのデジタル化 ※致道館中学校も対象（令和6年度から全市展開）	15,012 (市全体)	通学費支援制度の周知と申請や交付手続きをサポートし、保護者等の負担軽減を図る。 ・市ホームページ、市公式LINE、市広報や庁舎からのお知らせ等で通学費支援制度を周知する。 ・窓口で申請する方に対しデジタル活用も含めたサポートを行う。 ・致道館中学生、高校生の保護者に学校を通して通学費支援制度のチラシを配付する。	【補助金交付】※4～8月受付分 ・申請件数53件(実人数36人) うちLINE申請47件(利用率88.7%) ・交付決定53件 うち電子交付20件（利用率42.6%） ※電子交付利用率は、LINE申請のうちの電子交付 【周知】 ・制度や申請手続きについて、市ホームページで周知するとともに、致道館中学校及び各高等学校等に対し、保護者等への周知を依頼した。	○	・引き続き、保護者等に対し、通学費支援制度及び電子申請・交付手続きの利用方法を周知するとともに、申請時のデジタル活用を支援し、保護者等の負担軽減を図る。 ・JR及び路線バスの定期券を利用して通学する高校生等について、乗合タクシーを無料又は減免で利用できるよう関係機関と調整を進める。	通学費支援制度の周知及び申請・交付手続きを支援し、保護者等の負担軽減を図る。 ・市ホームページ、市公式LINE、市広報等を活用し通学費支援制度を周知する。 ・窓口で申請する方に対し、LINE申請などデジタル活用も含め必要なサポートを行う。 ・致道館中学生、高校生の保護者に対し、学校を通じて通学費支援制度のチラシを配付し、制度の周知を図る。

NO	総合計画または地域振興計画上の位置づけ	事業主体	事業内容	R8事業費(千円)	令和8年度取組予定	令和8年度進捗状況(8月31日現在)	進捗状況	令和8年度今後の予定	次年度以降の方向性
	事業名								
4	交流・連携の推進と基盤の整備（公共交通ネットワークの形成）	協議会	乗合タクシー運行を支援する。利用者や関係団体等の声を反映させた運行と、地域住民への周知を強化することで利用拡大を図り、持続可能な公共交通を目指す。	22,000	・時刻表等の改正時は周知が重要であるが、乗車マナーや乗り方の周知にも努め、利用しやすい環境を整える。 ・運行事業者との連携を密にし、道の駅開業を見据えた経路等の見直しを検討する。	○周知及び集落等での説明 ・温海庁舎からのお知らせ（7月） ・五十川百歳体操での説明 ○生活支援コーディネーター、運行事業者等との連携（随時） 【乗合タクシー利用実績】 (R8年7月末時点) 対象路線：戸沢線、平沢線、関川線 利用者数（4月～7月）： R6年度 4,856人 R7年度 5,551人 R8年度 4,975人 対前年比 ▲10.4%(R8/R7) 対前々年比 + 2.5%(R8/R6)	○	・新デザインによる時刻表の作成 ・道の駅移転開業を見据えた経路等の見直し及び運輸局への申請準備 ・JR及び路線バスの定期券を利用し通学している高校生等の乗合タクシー利用方法の検討及び申請準備 ・関係機関との意見交換 ・集落等で利用についての説明会実施（随時）	年間利用実績は3路線（定時定路線：戸沢線と平沢線、予約：関川線）ともに横ばい。周知等を強化し利用促進を図るとともに、各路線の利用状況を分析し、経路や乗降場所等の見直しを検討する。
	温海地域公共交通運営事業（継続） (乗合タクシー運行事業)								
5	地域における人づくりの推進（市民の多様な学習活動の推進）	各地域学校協働本部	【あつみ小学校】 ・登下校の安全確保、学習支援 【鼠ヶ関小学校】 ・学習支援、郷土学習、環境整備 【温海中学校】 ・あつみ地域未来塾	3,075 (市全体)	【あつみ小学校】 ・登下校の安全確保 ・読み聞かせによる学習支援 【鼠ヶ関小学校】 ・放課後児童クラブの実施 【温海中学校】 ・あつみ地域未来塾の開講 ・あつみ地域未来塾の通塾困難者に対する支援の検討	【あつみ小学校】 ・見守り隊48名による登下校の安全確保を実施 ・ほっかほかの会17名による読み聞かせを実施 【温海中学校】 ・昨年度の反省を踏まえ、<u>カリキュラムの変更について検討</u> ・あつみ地域未来塾の開講準備（9月5日～2月20日。温海中学校3年生34名中26名の申込み） ・昨年度のアンケートで寄せられた要望を踏まえ、1、2年生も対象とした夏休み企画を実施（8月限定/5のプログラム） ・あつみ地域未来塾の通塾困難者に対する支援としてオンライン配信を検討	○	【あつみ小学校】 ・登下校の安全確保と読み聞かせの活動を継続 【温海中学校】 ・あつみ地域未来塾を開講（全20回） ・温海中学校を会場に、<u>自習室開放を実施</u> ・夏休み企画の実施結果の振り返り	【あつみ小学校】 ・見守り隊による登下校時の児童見守りを継続する。 ・読み聞かせによる学習支援を継続する。 【温海中学校】 ・あつみ地域未来塾を継続する。 ・自習室開放、夏休み企画は実施結果の振り返りを行い、次年度の実施について検討する。
	地域学校協働活動推進事業（継続）								
6	海・山・自然豊かに暮らし続けられる環境整備	市	子どもの「自分の気持ちをコントロールできる力」「他人を気遣うことができる力」「コミュニケーション能力」といった「非認知能力」を育てるため、SEL教育アドバイザー三森朋宏氏の指導助言のもと、保育園から中学校まで一貫した「SEL生きる力を育む教育」を実施する。	1,133	<u>SEL教育アドバイザーの三森朋宏氏を講師に研修会等を実施</u> ・保育園訪問指導 ・小中学校訪問指導・模擬授業・3校合同研修会 ・（新規）新任職員対象SEL導入研修 ・（新規）家庭教育講座 ・（新規）SEL先進校かえつ有明中等学校、佐野副校長講演会・座談会 ・（新規）マスコットキャラクターの愛称募集、ぬり絵の展示 ・（新規）保育士、教師意見交換会	SEL教育アドバイザーの三森朋宏氏を講師に研修会等を実施 ・保育園訪問指導（2園×2回、終了） ・小中学校訪問指導・模擬授業（あつみ小1回、鼠ヶ関小1回、温海中2回） ・4/20（新規）新任職員対象SEL導入研修（ふれセンにて。教員、庁舎職員、ふれセン職員計25人参加） ・8/3（新規）保育士、教師意見聴取（庁舎にて。7人参加）	○	SEL教育アドバイザーの三森朋宏氏を講師に研修会等を実施 ・小中学校訪問指導・模擬授業（あつみ小1回、鼠ヶ関小1回） ・9/4 3校合同研修会 ・9/5（新規）家庭教育講座（ふれセンにて、保護者対象） ・（新規）SEL先進校かえつ有明中等学校、佐野副校長と三森氏との対談 11/6（ふれセンにて。保育士対象） 11/7（国際村にて。教員・一般対象） テーマ：A I 時代を生きる子どもたちに必要な『生きる力』とは	・今年度、保育士・教員より聴取した意見を整理し、来年度以降の事業の進め方に反映させていく。
	【地域振興事業】 温海地域生きる力を育む教育推進事業								

NO	総合計画または地域振興計画上の位置づけ 事業名	事業主体	事業内容	R8事業費 (千円)	令和8年度取組予定	令和8年度進捗状況 (8月31日現在)	進捗状況	令和8年度今後の予定	次年度以降の方向性
7	地域の防災・防犯力の強化 災害に強いまちづくり事業	市	近年多発する自然災害に対応するため、被害の未然防止対策を通じて地域の防災体制の充実を図り、安全安心な地域づくりを目指す。	24,700 (市全体)	ハザードマップ（洪水・内水・津波・高潮）の更新・作成を行う。	・6/26開催の市全体説明会において、ハザードマップの更新について説明 ・8/18～8/21の期間に地区自治会毎ワークショップを開催。自治会役員参加のもと、防災意識の醸成と災害時の避難経路等について共有した。	○	・ワークショップで寄せられた意見をもとに、9月下旬に各自治会に修正案を送付 ・11月中旬に最終案の確認を行い、令和9年3月～5月にハザードマップを公表	・令和9年5月に完成したハザードマップを全戸配布する。
8	地域の防災・防犯力の強化 防災情報伝達手段強化事業	市	スマートフォンアプリによる情報伝達システムを導入し、携帯電話回線を活用して特定の地域に対する情報伝達を行う。また、各自治会から情報発信を可能とする環境を整備する。	10,480 (市全体)	防災行政無線をスマートフォンで聞くことができるアプリ「コスモキャスト」を全市で導入する。	・6/26開催の市全体説明会においてコスモキャストの導入について周知 ・ハザードマップのワークショップに併せ、コスモキャストの導入を改めて周知。地域住民への周知を促した。	○	・10月中を目途に運用開始 ・地区自治会毎の説明会を実施予定 ・温海地域独自にアプリの導入方法や利用方法について説明会を実施予定 ・コミュニティの観点での運用方法の検討	・コスモキャストを継続的に活用できるよう、利用促進・支援体制の充実を進める。
9	住民自治組織の強化と地域活動の担い手の確保・育成 次世代コミュニティ構築に向けた検討	市	人口減少や少子高齢化等の地域課題を踏まえ、温海地域に適した次世代コミュニティの構築を目指す。	—	人口減少が進む中でも、単位自治会が担うべきものと地区自治会などの広域的枠組みで担うべきもの又は担ってもよいものの仕分けを依頼し、今後の方向性を検討する。	・6月からヒアリングを開始し、11自治会において実施済み。	○	・12月までに、全自治会に対しヒアリングを行う。結果については年度末までに整理する。 ・自治会長会議において、ヒアリングの途中経過を報告する。	・自治会の負担軽減を図る方策について検討する。 ・新たな広域コミュニティの組織化や地区自治会の役割の再考・機能強化について研究する。
10	海・山・自然豊かに暮らし続けられる環境整備 【地域振興事業】 温海地域支え合い訪問活動事業（継続）	市	地域で暮らす高齢者等が集うことにより、フレイル予防、引きこもり防止が期待され、交流・会話することで互いの困りごとや安否確認ができるとともに、住民同士の助け合いの意識が高まることを目的として事業を実施する。また、この事業を通して定期的な通いの場の創出につながるよう支援する。	68	高齢者等の集いの場などが確立されていない集落に対して、自治会や民生児童委員の協力のもと高齢者等に声がけを行い、年間3回程度テーマを設け集いの場を創出する。 ・お茶のみサロン、フレイル予防、外出支援を行う。 ・令和8年度は、3集落で実施 ・事業期間は令和7年度から3か年とし、10集落で実施する。(令和7年度は4集落で実施。令和9年度は3集落で実施予定)翌年度はフォローアップ事業を行い、活動の定着を図る。	○令和8年度対象集落 (小菅野代、湯之里、釜谷坂) ・釜谷坂=6/24開催 ○フォローアップ:令和7年度実施集落(安土、越沢、鍋倉、小名部) ・小名部=7/8開催	○	○令和8年度対象集落 ・釜谷坂=10/8, 11/19（年3回開催予定） ・湯之里=9/14, 10/19, 11/24（年3回開催予定） ・小菅野代=9/8開催予定（年1回） ○フォローアップ（年1回開催予定） ・越沢=11/16 ・安土及び鍋倉は、定期的に集う体制が構築されたことから、フォローは実施しないこととする。	○令和9年度対象集落 一霞・峠ノ山・小岩川 ※小岩川は、定期的に集う体制が構築されたことから実施しないこととする。 ○支援終了後の自立活動に向けた取組 ・引き続き、フレイル予防や引きこもり防止を図るため、集落支援員、地域包括支援センターあつみ、温海福祉センターと連携し、独自の活動に対してアドバイス等を行う。
11	子ども・家庭・地域がともに健やかに育つ環境の充実 (子育て世代の負担軽減) 民間保育所等への各種補助事業(温海地域保育園通園事業補助金)(継続)	事業実施団体	保育園の統廃合に伴う保護者負担軽減のため、あつみ福祉会が行う保育園通園事業に対して経費の一部を補助する。	18,474	保育園利用予定に基づいた従来通りの補助金の交付 〈参考〉 あつみ保育園 海側 コミューター（タクシー） 山側 普通車（タクシー） 鼠ヶ関保育園 特定大型車（タクシー）	延べ運行回数 あつみ保育園：海側480回・山側480回 鼠ヶ関保育園：480回 利用者 あつみ保育園：8名 鼠ヶ関保育園：7名	○	遠方からの通園に伴う費用と時間の負担を最小限に抑え、引き続き、保護者の負担軽減を図る。 ※ 料金改定により運行経費が増額となった(改定率12.76%) 利用園児の減少に伴い行政負担が増加する構造にあり、通園に伴う保護者の負担軽減に配慮しながらも経費削減の方策を検討する必要がある。	利用予定に基づき補助事業を継続する。 〈参考〉 あつみ保育園 海側 コミューター（タクシー） 山側 普通車（タクシー） 鼠ヶ関保育園 特定大型車（タクシー）

進捗状況…○概ね順調に進んでいる、△遅れている、×未実施

NO	総合計画または地域振興計画上の位置づけ 事業名	事業主体	事業内容	R8事業費 (千円)	令和8年度取組予定	令和8年度進捗状況 (8月31日現在)	進捗状況	令和8年度今後の予定	次年度以降の方向性
12	子ども・家庭・地域がともに健やかに育つ環境の充実 (子どもの居場所づくりの推進)	市 事業実施団体	保護者が就労等により留守になる小学生を対象とした放課後児童クラブの運営を支援し児童の健全育成を図る。 (あつみ保育園に併設するあつみつこクラブ) ※利用料月額6,500円 (長期休暇、2人目以降等加算有)	592,170 (市全体)	運営法人である社会福祉法人あつみ福祉会に対し運営支援を継続して実施する。	登録者数49名 長期休暇は8:00～18:30開所 上記以外はあつみ小学校退校時刻～18:30保育を行っている。 ・小学校の臨時休校や振替休日時の開所対応 ・ <u>鼠ヶ関小学校児童の平日利用ニーズ</u> に応えるため、R7年10月から車庫に戻るスクールバスを活用し希望者を受け入れている。	○	放課後に、児童が安心安全に過ごすことができる環境を整備することにより、引き続き児童の健全育成に寄与 ※ 狭隘解消に向けて行った増築工事はR8年7月に完成したが、 <u>定員30名</u> に対し登録者数は49名(内、19人は不定期利用者)おり、引き続き安全への配慮が必要な状況	児童の減少傾向は今後も続く見通しであるが、 <u>核家族化により放課後児童クラブのニーズは高く</u> 、令和9年度以降も引き続き多くの利用が見込まれるため、運営法人への支援を継続して行う。
	放課後児童対策事業 (継続)								
13	高齢者が健康で生き活きとした地域の実現(地域生活を支える体制の充実)	市 事業実施団体	<u>在宅での生活に支障がある高齢者に、一定期間住居を提供し</u> 、各種相談、助言及び緊急時の対応を行う。 (温寿荘内生活支援ハウス)	5,312	・避暑利用(7～9月末まで)と越冬利用(12～3月末または4月末まで)を予定しているほか、緊急に対応する案件(虐待など)が確認された場合の一時避難所としての利用 ・利用者へ感染予防対策の周知	・現在利用者はなし。 ・櫛引地域の同種施設が夏期閉鎖となったことから、緊急案件での相談は増加(申請には至っていない。)	○	・越冬利用は、希望者の申請漏れがないよう、地域包括支援センターや民生委員の協力を得ながら周知する。 ・インフルエンザや新型コロナなどは、利用中に発症した場合でも自宅待機しなければならないことから、入居前に予防接種やワクチン接種をするよう周知する。	・夏季の緊急案件での相談が増加していることから、朝日地域の同種施設との連携が必要 ・施設の老朽化に伴い、修繕箇所が増えており、受託法人の負担が大きくなっていることから、 <u>大規模修繕についても検討が必要</u>
	高齢者施設運営事業 (高齢者生活福祉センター運営業務委託料) (継続)								

NO	総合計画または地域振興計画上の位置づけ	事業主体	事業内容	R8事業費(千円)	令和8年度取組予定	令和8年度進捗状況(8月31日現在)	進捗状況	令和8年度今後の予定	次年度以降の方向性
	事業名								

【産業建設課】

14	地域特性を生かした農林水産業の振興	市 事業実施団体	在来作物である「焼畑あつまかぶ」と「越沢三角そば」について、生産振興などの活動を行う団体へ支援を行い、ブランド化と生産振興、後継者育成、交流人口の拡大を図る。	1, 098	生産量の増加や品質の維持・向上など各々が抱える課題を解決するため、それぞれの団体が行う活動への支援を継続する。	【焼畑あつまかぶ】 ・新規生産者育成支援（栽培チャレンジサポート事業）の実施：4団体 ・春播き初夏収穫実証栽培の実施：2圃場 ・春かぶ試食会の開催（8月） 【越沢三角そば】 ・栽培講習会の実施（6月） ・他県そば団体（信州）との意見交換・研修の実施（6月）	○	【焼畑あつまかぶ】 ・農林水産イベントでのプロモーション活動の実施（11月） ・販促ツールの作成 【越沢三角そば】 ・そば打ち講習会の実施（12月） ・越沢新そばまつりでのプロモーション活動の実施（10月）	生産量の増加や品質の維持・向上など各々が抱える課題を解決するため、それぞれの団体が行う活動への支援を継続する。
	【地域振興事業】 温海地域在来作物振興事業（継続） ①焼畑あつまかぶの振興 ②越沢三角そばの振興								
15	地域経済を支える農業生産の拡大（中山間地域農業の活性化）	市 事業実施団体	電気柵等の追い払い用機材の購入費や狩猟免許取得に係る経費の一部補助を行う。また、鳥獣被害対策実施隊による有害鳥獣の捕獲、追い払いを行い、有害鳥獣による農作物被害を防止する。	38, 871 (市全体)	令和8年度の要望調査を元に、電気柵の設置などの活動に対し支援するとともに、鳥獣被害対策実施隊等と連携し、有害鳥獣捕獲活動を継続して行うことで農作物被害の軽減を図る。	【農作物被害対策支援】 ・電気柵設置補助：35件 ・鳥獣被害防止地域活動補助：2件 ・不要果樹伐採補助：1件 ・全集落に追い払い用花火の配付	○	・令和9年度の補助事業について、窓口での相談者や自治会、生産組合へ周知し、取りまとめを行う。 ・有害鳥獣の捕獲活動支援として、猟友会(実施隊)への活動支援補助を実施し、有害鳥獣の捕獲と追い払いを継続する。 ・狩猟免許の取得や銃の所持許可の取得に対する支援を行う。	令和9年度の要望調査を元に、電気柵の設置などの活動に対して支援するとともに、鳥獣被害対策実施隊等と連携し、有害鳥獣捕獲活動を継続して行うことで農作物被害の軽減を図る。
	鳥獣被害対策事業（継続）								
16	効率的な木材生産と健全で豊かな森林づくり（担い手の育成・確保）	市	小学生から一般市民、漁業者などが参加し、森林学習や森づくり活動の体験等を行い、森林に対する理解を深めると共に、森林資源の有効活用と後継者の育成を図る。 ・天魄山森林自然教室 ・鼠ヶ関小学校森林環境教室 ・ねずがせき魚の森づくり活動 ・フォレストフィールセミナー	1, 258	【天魄山森林自然教室】 ・7月森の恵み学習、森の保全活動 ・8月焼畑あつまかぶ生産活動(焼畑、播種) ・11月焼畑あつまかぶ生産活動(収穫、漬込み)、サケ生産活動の学習 ・3月サケ稚魚の放流体験 【鼠ヶ関小学校森林環境教育事業】 ・6月自然教室 ・9月竹林整備体験、焼畑あつまかぶ栽培体験(焼畑・播種) ・10月竹細工体験 ・11月焼畑あつまかぶ栽培体験(収穫・漬込み) 【ねずがせき魚の森づくりの会】 ・7月第1回魚の森づくりの会 下刈り作業 ・10月第2回魚の森づくりの会 下刈り作業 【フォレストフィールセミナー】 年6回開催 鶴岡市あつまみ森林組合	【天魄山森林自然教室】 予定どおり実施 【鼠ヶ関小学校森林環境教育事業】 予定どおり実施 【ねずがせき魚の森づくりの会】 7月第1回魚の森づくりの会 下刈り作業予定どおり実施 【フォレストフィールセミナー】 ・年7回 開催(本所予算) 5回予定通り実施済	○	【天魄山森林自然教室】 ・11月焼畑あつまかぶ生産活動(収穫、漬込み)、サケ生産活動の学習 ・3月サケ稚魚の放流体験 【鼠ヶ関小学校森林環境教育事業】 ・9月竹林整備体験、焼畑あつまかぶ栽培体験(焼畑・播種) ・10月竹細工体験 ・11月焼畑あつまかぶ栽培体験(収穫・漬込み) 【ねずがせき魚の森づくりの会】 ・10月第2回魚の森づくりの会 下刈り作業 【フォレストフィールセミナー】 9月、11月実施予定	【天魄山森林自然教室】 ・7月森の恵み学習、森の保全活動 ・8月焼畑あつまかぶ生産活動(焼畑、播種) ・11月焼畑あつまかぶ生産活動(収穫、漬込み)、サケ生産活動の学習 ・3月サケ稚魚の放流体験 【鼠ヶ関小学校森林環境教育事業】 ・6月自然教室 ・9月竹林整備体験、焼畑あつまかぶ栽培体験(焼畑・播種) ・10月竹細工体験 ・11月焼畑あつまかぶ栽培体験(収穫・漬込み) 【ねずがせき魚の森づくりの会】 ・7月第1回魚の森づくりの会 下刈り作業 ・10月第2回魚の森づくりの会 下刈り作業 【フォレストフィールセミナー】 年7回開催 鶴岡市あつまみ森林組合
	森林環境教育推進事業（継続）								
17	効率的な木材生産と健全で豊かな森林づくり（木材生産の拡大）	市	県による代行事業として、横代と早田を連結する新たな基幹林道を開設する。 市は、事業の進捗に応じて用地取得及び支障木伐採等を行う。 (計画期間：平成28年～令和12年※5年延長)	8, 800	【早田地区】 L=120m ・立木調査 ・土地借上げ ・立木補償 ・用地測量 ・用地買収 ・支障木伐倒搬出 【林道工事の推進】 ・市重要事業として、県へ要望 ・事業推進に向けた要望	【早田地区】 ・用地測量 【林道工事の推進】 ・鶴岡市重要事業として、県へ要望	△	【早田地区】 ・用地買収 ・立木調査	【早田地区】 ・立木調査 ・土地借上げ ・立木補償 ・用地測量 ・用地買収 ・支障木伐倒搬出 【林道工事の推進】 ・市重要事業として、県へ要望 ・事業推進に向けた要望
	林道念珠閣線開設事業（継続）								

NO	総合計画または地域振興計画上の位置づけ	事業主体	事業内容	R8事業費(千円)	令和8年度取組予定	令和8年度進捗状況(8月31日現在)	進捗状況	令和8年度今後の予定	次年度以降の方向性
	事業名								
18	地域特性を生かした農林水産業の振興	事業実施団体	国の伝統的工芸品に指定されている「羽越しな布」の後継者育成や原材料の確保、需要の拡大等に資する取組を支援し、保存・伝承を図る。	485	・羽越しな布振興協議会が行う「羽越しな布」の後継者育成や原材料確保、需要拡大等に係る事業に対し、補助金交付による支援を継続する。 また、実施団体の組織での後継者不足解決のための仕組みづくり、組織体制強化について提案、助言を行う。	【後継者育成事業】 ・地域内外の参加者を対象に原材料採取研修や糸づくり研修会等を実施 【需要開拓・販路拡大事業】 ・福島で開催されたイベント出展を通じて、羽越しな布のPR活動を実施	○	【後継者育成事業】 ・地域内外の参加者を対象に原材料採取研修や糸づくり研修会等を実施 【需要開拓・販路拡大事業】 ・関川しな織まつりや山形市で開催されるイベント出展を通じて、羽越しな布のPR活動を実施	・羽越しな布振興協議会が行う「羽越しな布」の後継者育成や原材料確保、需要拡大等に係る事業に対し、補助金交付による支援を継続する。 また、実施団体の組織弱体化が著しいことから、後継者不足解決のための仕組みづくり、組織体制強化について提案、助言を行う。
	【地域振興事業】 温海地域伝統的工芸品振興事業(継続)								
19	自然・歴史・文化を生かした交流人口、関係人口の拡大	事業実施団体	SDGs教育旅行や体験型観光の受入を行うNPO法人の誘致活動等を支援し、交流人口の拡大と着地型観光の促進を図る。	2,300	・教育旅行受入れ数の拡大 ・自然体験事業の受入れ拡大 ・旅行代理店等への訪問営業活動 ・バリアフリービーチイベントや灯台利活用事業等、鼠ヶ関海岸をフィールドとした事業の共催 ・道の駅移転整備事業と連携した誘客の検討	・教育旅行受入実績：3校 中学校1、専門学校1、大学1 ・個人・団体受入：256名 ・キャンプ場運営事業の実施	○	・今後の教育旅行受入予定：3校 中学校1、高校1、大学1 11月に首都圏の中学校受入予定 ・8月：バリアフリービーチイベントによる障がい者受入 ・9月：灯台コンサート開催予定 ・仙台市内旅行代理店等への営業活動	・教育旅行受入れ数の拡大 ・自然体験事業の受入れ拡大 ・旅行代理店等への訪問営業活動 ・バリアフリービーチイベント等の鼠ヶ関海岸をフィールドとした事業の共催 ・道の駅移転整備事業と連携した誘客の検討
	【地域振興事業】 温海地域体験旅行推進事業(継続)								
20	交流・連携の推進と基盤の整備(高速交通ネットワークの充実)	市事業実施団体	・令和9年開業予定の道の駅の運営事業者が実施する業務のモニタリングを行う。 ・移転後における「しゃりん」の跡地活用等の検討を行う。	(移転整備) 1,415,255	【移転整備事業関連】 ・建設工事 ・DBO事業モニタリング業務(市道奥田線) ・道路改良(市道奥田線) ・臨時駐車場整備工事 ・鼠ヶ関川親水広場整備 【地域振興事業関連】 ・オープン前のイベント開催 ・地域住民への情報提供 ・道の駅「しゃりん」跡地の検討	・道の駅運営事業者「㈱夕陽コミュニティ」との月1回の定例会議等によって事業者のモニタリングを行うと共に、課題事項別の分科会を開催し、事業推進を図る。 ・4/22(水)しゃりん納品者への情報提供 ・7月31日(金) 未来の道の駅あつみ うえるかぶ探検隊！-ナツ-開催 ・随時 市内・温海地域内物販イベントでのチラシ配布によるPR	○	・地域住民への情報提供 ・オープン前のイベントの実施 ・納品者説明会の開催(10月予定) ・鼠ヶ関小学校児童を対象にした現場見学会(10月予定)	・オープンに向けた取り組み ・施設の魅力や観光資源を発信するプロモーション活動 ・オープン前のイベント開催支援 ・地域住民への情報提供 ・道の駅「しゃりん」跡地の検討
	道の駅あつみ移転整備事業(継続)								
21	あつみ温泉と道の駅を拠点とした地域振興	事業実施団体	新たな道の駅あつみのコンセプトである「日本海の自然と食と遊びのテーマパーク」に基づいた、観光拠点としての整備や活用・情報発信と温海地域ならではの食の特産品開発及び販路拡大を図る。	3,837	(1)道の駅あつみ物産振興支援 生産者団体などを伴奏支援するほか、地域食材の選定から生産、出荷、特産品・6次加工品の開発、販売までを一体的に推進する体制を構築する。 (2)道の駅あつみ誘客促進事業 道の駅あつみの魅力や温海地域の観光資源を効果的に発信するため、市内外への情報発信を強化する。 ①県外等プロモーション活動 ②道の駅あつみ集客振興事業	(1)道の駅あつみ物産振興支援 ・道の駅あつみ「うえるかぶ」の運営事業者の代表企業として参画している㈱庄交コーポレーションと委託契約を締結 ・地域住民に向けて、道の駅の概要・工事の進捗、産直への出荷方法や6次産業化加工施設についての説明と求人予定などを紹介した説明会を8会場で開催 (2)道の駅あつみ誘客促進事業 効果的なPR活動の展開について、運営事業者と検討を行った	○	(1)道の駅あつみ物産振興支援 ・現在の道の駅「しゃりん」での農産物等販売実績の分析、農産物等を活用した商品開発や生産者・団体向けの研修会の開催 (2)道の駅あつみ誘客促進事業 ・モンテディオ山形市町村応援デーでの開業PR(9月実施) ・建設中の周辺道の駅と連携した域外プロモーション活動の開催 ・オープン前のイベントの実施	(1)道の駅あつみ物産振興支援 ・地域資源を活用した生産者や団体の支援 (2)道の駅あつみ誘客促進事業 ・施設の魅力や観光資源を発信するプロモーション活動 ・オープン前のイベント開催支援
	【地域振興事業】 道の駅あつみ振興事業(令和8年度新規事業)								
22	快適な都市環境の形成(多様な機能を有する公園・緑地の整備と保全)	市	指定管理者制度への移行を見据え、あつみ温泉の拠点施設である「あつみ温泉ばら園」の魅力向上のため、施設の改修を進める。	50,000	あつみ温泉ばら園改修 ・安全柵設置 ・園路改修 ・花壇改修 ・バラ植栽等 指定管理者制度導入の準備	・あつみ温泉ばら園改修工事を施工中 ・指定管理者制度導入の準備	○	・令和9年3月、あつみ温泉ばら園改修工事が完了予定 ・令和8年度内に指定管理者を決定	・令和9年4月1日から指定管理者による管理開始予定
	温海公園整備事業(継続)								